

事業継続推進機構 委員会・分科会 2006 年度 第一回会合 議事録

1. 会合概要

- (1) 開催日:2006 年 5 月 10 日(水)18:00 ~21:00
- (2) 場所 所在地:東京都豊島区西池袋 2-37-4
会場名:豊島区立勤労福祉会館大会議室
- (3) 今回の議長役氏名:細坪事務局長(特定非営利活動法人危機管理対策機構)
- (4) 議事録作成者氏名:細坪事務局長(特定非営利活動法人危機管理対策機構)
- (5) 今回の幹事氏名:
- (6) 出席者氏名:109 名(理事 11 名、監事 3 名、会員 93 名、事務局 2 名)
- (7) 主要な決定事項
 - ①標準化・教育委員会は、専門家認定制度の立ち上げおよび専門家教育講座のニーズが早期に立ち上がったためこれらのタスクを整理し以下の 3 つの分科会に組み替えた。
 - ・標準化分科会; 座長 山口理事
 - ・カリキュラム分科会; 座長 指田副理事長
 - ・セミナー講座分科会; 座長 黄野理事
 - ②副座長を下記のとおり選出した。(敬称略)
 - ①標準化・教育委員会
 - ・標準化・教材分科会
前田 泉(株式会社 IT プロフェッショナル・グループ)、
南 宏二(エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社)
 - ・カリキュラム分科会
加瀬 隆(株式会社ニューフレアテクノロジー)
副島 聡(エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社)
 - ・セミナー講座分科会
蓮本 浩介(近畿福祉大学/埼玉福祉専門学校)
 - ②普及啓発委員会
次回検討
 - ③国際委員会
 - ・ISOタスクフォース
 - ・国際連携分科会
原田 泉(株式会社国際社会経済研究所)
鈴木 祐一(日本アイ・ビー・エム株式会社)
 - ④BC基本事項委員会
 - ・ビジネスインパクト分科会
次回決定

- ・情報システム分科会
大塚 純一（日本アイ・ビー・エム株式会社）
- ・バックアップオフィス分科会
次回までに選出予定
- ・ファイナンス分科会
野田 健太郎（日本政策投資銀行）
- ・自然災害分科会 テロ・事件分科会
次回以降に決定

⑤調査・分析委員会

- ・BC事例調査分科会 文献・統計分科会
水越 薫（株式会社イー・アール・エス）

(8) 次回開催予定

各委員会、分科会ごとに開催日時をメンバー間で調整の上、下記のとおり設定した。

①標準化・教育委員会

- ・標準化・教材分科会

開催日：6月15日（木）15:00～

場所 所在地：港区芝 5-33-1

会場名：日本電気株式会社社会議室

- ・カリキュラム分科会

開催日：5月25日（木）18:00～

場所 所在地：千代田区丸の内 1-2-1

会場名：東京海上日動リスクコンサルティング会議室

- ・セミナー講座分科会

開催日：5月26日（金）17:30～19:00

場所 所在地：千代田区九段南 4-7-13 大島ビル 5F

会場名：SEMI ジャパン会議室（大島ビル）

②普及啓発委員会

開催日：2006年6月9日（金）14:00～

場所：梶浦理事より通知

③国際委員会

- ・ISOタスクフォース

- ・国際連携分科会

開催日：2006年6月23日（金）16:00～

場所 所在地：千代田区神田駿河台 3-9

会場名：三井住友海上 駿河台ビル

④BC基本事項委員会

・ビジネスインパクト分科会

開催日：2006年6月13日（火）15:30～17:30

場所 所在地：千代区大手町 2-3-6

会場名：三菱総合研究所 CR-1 会議室

・情報システム分科会バックアップオフィス分科会

開催日：2006年6月7日（水）15:00～

場所 所在地：〒144-8588 東京都大田区新蒲田 1-17-25

会場名：富士通ソリューションスクエア

・ファイナンス分科会

開催日：2006年6月9日（金）18:00～21:00

場所 所在地：東京都千代田区内幸町 1-1-7（千代田線 日比谷駅）

会場名：大和生命ビル 8階 損保ジャパン・リスクマネジメント
日比谷オフィス会議室

・自然災害分科会 テロ・事件分科会

開催日：2006年6月15日（木）18:00～20:00

場所 所在地：東京都西新宿一丁目 25番1号

（工学院大学向かい側、新宿駅西口徒歩5分）

会場名：新宿センタービル 18階 大成建設会議センター220 会議室

⑤調査・分析委員会

・BC事例調査分科会 文献・統計分科会

開催日：2006年6月5日（月）18:00～20:00

場所 所在地：千代田区神田駿河台2-3

会場名：お茶の水の日新火災海上保険

2. 議事内容

(1) 全体説明

- ① 会合の趣旨、段取りの説明
- ② 現状報告と今後の予定
- ③ 委員会、分科会運営について

以上、「(1) 全体説明」について、別紙配布資料に基づき、丸谷理事長、細坪事務局長から説明があった。

④ 質疑応答：特になし

(2) 委員会ごとの顔合わせ

(3) 分科会ごとの会合

- ① 顔合わせ
- ② 分科会の仕事、テーマ等の説明
- ③ 副座長の選出(又は仮決定)
- ④ 次回会合の日時のセット

以上、「(2) 委員会ごとの顔合わせ」について、各委員会に分かれて行い、その後、「(3) 分科会ごとの会合」について、各分科会に分かれ、上記「(3) ①～④」を行った。(各委員会、分科会の議事内容については、別紙資料 各委員会、分科会議事録を参照。)

(4) 全体会合

各委員会、分科会からの会合内容について発表があった。各委員会、分科会の発表内容については、別紙資料 各委員会、分科会議事録を参照。

その後、丸谷理事長より、会員へのお願いと今後の方針の確認について、発言があった。

① 7月10日セミナーの協力の要請について

- ・ 認証記念セミナーを7月10日に開催する。
- ・ イベントの実施と分科会での研究は、それぞれ違った意味付けがあり、分科会で企画等は決定するが、ご協力頂ける方を募集したい。
- ・ 動員をかけて形を作るのではなく、NPOとしてPRをし、来たい人に情報を提供する必要があるため、ネットワーク的にご協力を頂きたい。
- ・ よって、分科会とは別に、今回のセミナーの実施について、ご協力頂きたい(場合によっては、第3分科会も可)。
- ・ 法人会員ににおかれましては、ぜひ、お一人(以上)ご協力頂きたい(この時期だけでも構わない)。

② 分科会について

- ・ 本日の分科会の設定は運営委員会(=非公式理事会)や事務局で、ニーズがあるものを設置したが、これ以外にも増設や分割等可能である。
- ・ 分科会の新設・変更は、5人以上が参加することを確認し、総括委員会(拡大理事会 分科会の座長、副座長も参加)か運営委員会での決定が必要であるが、当面は、できるだけ柔軟な対応が必要と考えている。

③ 分科会での意見交換、MLについて

- ・ もし会合が月1回程度しか集まらない場合は、ヤフーなどのMLをプライベートで作成も可能。
- ・ 事務局もお手伝いする用意がある。
- ・ 10人程度であれば、直接、メールのやり取りも可能。

④ 副座長について

- ・ 総括委員会を大事にしていくために、副座長に立候補して頂きたい。
- ・ 将来、中心的に担いたい企業、個人の方は副座長への立候補を積極的に考えて頂きたい
- ・ 副座長が同じ法人から2人以上である場合は、1人が総括委員会に出席というルールがある(個人会員の場合は関係なく、この旨、配布資料には記載済み)。

- ・ 多面的な意見を収集するため、多くの法人会員、統括委員会に入って頂きたい。

⑤ 今後の方針について

- ・ 各分科会のスピード感が違うので、今回のカリキュラム・セミナーに関心がある一方で他の分科会に参加された方は、7月までの原案作成という目標設定上、ぜひ、標準化・教材分科会、セミナー分科会にご参加頂きたい。
- ・ 所定の方式に則って、議事録の提出等により、各委員会、分科会の活動報告を行う。

続いて、渡辺副理事長より、先月末、IWA での ISO の会議について状況報告があった。(私見として)

- ・ IWA は、ISO 化をする前の段階で、ステークホルダーが集まって議論をし、何らかの合意が得られれば、通常よりも早いスピードで ISO 化が進められる。
- ・ 米国の標準規格の ANSI という団体が企画し、イタリアで開催された。
- ・ 米国は NFPA1600、英国は BSI(British Standards Institution)から原案が出され、日本、イスラエル、オーストラリアも提出し、各国の原案、規格を比較、評価した。
- ・ IWA は各国や組織の代表以外も参加可能で登録は必要だが、国、公共、民間、企業などを代表する様々なステークホルダーが集まったため、言葉の定義で、議論が非常に迷走した (Business Continuity、Emergency Management、Emergency Preparedness、Operational Continuity など。今後、BCAO でも定義が必要。)
- ・ 当初よりも、ISO には時間がかかる見込みだが、ISO は、いずれにせよ、何らかの形で実現するため、ISO の効果も議論が必要だが、現段階では、恐れずに足らず、粛々と行う

最後に、細坪事務局長より、今後は会員の皆様に多くの情報を提供していきたい事と、皆様からのご要望について、全てを受けきれない場合がある事、また、事務局の不備や不手際など至らない点多々あるとは思いますがご容赦をいただきたいという点について発言があり、以上をもって閉会とした。